

4 雇用の動き

平成13年の調査産業計の推計常用労働者数は規模5人以上では404,401人、前年比1.4%減（規模30人以上では、215,425人、前年比2.2%減）となった。

産業別にみると、電気・ガス・熱供給・水道業（5.2%増）、建設業（0.6%増）が増加した産業で、逆に減少したのは金融・保険業（7.4%減）、卸売・小売、飲食店（3.2%減）、運輸・通信業（2.4%減）等である。（表4、図5）

また、労働異動率（入職率、離職率）は平成13年の平均では入職率1.67、離職率1.86で離職率が0.19ポイント上回った。

表4 産業別推計常用労働者数及び雇用指数（規模5人以上）

産業分類	推計常用労働者数		雇用指数 (平成12年 = 100)			雇用指数 (平成12年 = 100)		
	平成12年平均	平成13年平均	平成12年平均	平成13年平均	対前年増減率	平成12年12月	平成13年12月	対前年増減率
調査産業計	410,163 ^人	404,401 ^人	100.0	98.6	1.4%	100.0	97.6	2.4%
調査産業計（サービス業除く）	282,047	276,371	100.0	98.0	2.0	99.5	96.5	3.0
建設業	39,944	40,197	100.0	100.6	0.6	104.2	99.3	4.7
製造業	99,515	98,327	100.0	98.8	1.2	98.2	95.0	3.3
電気・ガス・熱供給・水道業	2,797	2,941	100.0	105.2	5.2	98.1	110.6	12.7
運輸・通信業	29,826	29,113	100.0	97.6	2.4	98.2	102.5	4.4
卸売・小売業、飲食店	92,352	89,438	100.0	96.8	3.2	99.4	95.6	3.8
金融・保険業	15,980	14,802	100.0	92.6	7.4	98.8	91.6	7.3
サービス業	128,117	128,030	100.0	99.9	0.1	100.9	100.1	0.8

(注) 調査産業計には鉱業、不動産業を含む。

図5 雇用指数（調査産業計）
（規模30人以上）

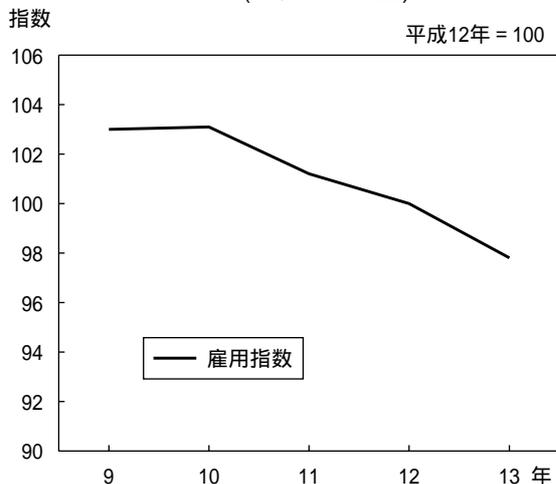


図6 入職率、離職率の推移（調査産業計）
（規模5人以上）

